

表面処理事業での効率化に関する新製品の開発と販売開始のお知らせ

新東工業株式会社（本社：名古屋市、永井淳 社長）は、中核事業である表面処理事業において、広く社会で求められる高効率化・省エネに貢献する新製品として、主力製品であるショットブラスト装置の新たな遠心式投射ユニットである「高効率インペラユニット」（以下「本ユニット」という）と、ショットピーニング処理製品の品質管理に欠かせない「X線応力測定装置 PSMX-I」（以下「本測定装置」という）を開発しました。

今後の新興国への対応としても「効率の良い処理」と「処理品質の安定性」は欠かせないファクターであり、新東工業はブラスト処理からその後の製品評価まで含めて、高効率化を提案してゆきます。

遠心式投射ユニットによる小物製品や加工範囲が一部分に限定された製品のショットブラスト/ショットピーニング処理では、処理面積が狭くなればなるほど処理効率が低下するという課題がありましたが、本ユニットでは、投射範囲（投射材の投射分布）を集中化させることで、直接作用する投射量を増やし、効率よく処理する事が可能となり、これまでエアブラストにより処理していたリングギアやシャフト状の対象製品に対しても対応が可能となりました。

ブラスト処理の加工時間の短縮と生産性向上を、本ユニットを搭載したコンセプトマシンとして提案します。

このコンセプトマシンはブラスト処理の高効率化だけでなく、4月に発表しました **Sightia** ピーニング非破壊検査装置 ECNI-I を搭載し、製品評価の効率化も実現しています。

コンセプトマシン同様、本ユニットのメリットを最大限利かし、生産性向上に寄与できる装置と評価技術を合わせた新商品を順次市場投入してゆきます。

トランスミッションギヤ、サスペンションスプリング、エンジン用弁ばねをはじめとした自動車用部品のほか、金型等でのショットピーニングによって対象製品に付与される圧縮残留応力測定を、従来と比較して1/5～1/10の短時間で測定することができ、又、持ち運びの可能なX線応力測定装置を開発いたしました。

本装置は測定・検査時間の大幅な短縮に加えて、近年の高強度化を目指した素材や熱処理技術によって創られた高強度材料に対するショットピーニングに対し、高精度の演算・評価が可能となっています。

リリースに関するお問い合わせ先

新東工業株式会社

コーポレート部(広報担当)

名古屋市中区錦一丁目11番11号

webmaster@sinto.co.jp

Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279

本測定装置は、ピーニング非破壊検査装置に続く **Sightia** シリーズの第2弾として、ピーニング処理後の応力測定の効率化を需要先へ提案してゆきます。

当社では、これら新製品とコンセプトマシンを6月25日（水）から27日（金）に東京ビッグサイトで開催される「第18回 機械要素技術展」に実機展示して、プレゼンテーション活動を実施します。

リリースに関するお問い合わせ先

新東工業株式会社
コーポレート部(広報担当)
名古屋市中区錦一丁目11番11号
webmaster@sinto.co.jp
Tel 052 582 9211 Fax 052 586 2279